

貸借対照表

医療法人社団綾和会

【負債・純資産の部】

平成30年 5月31日 現在

単位：千円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【流 動 負 債】	3,467,903	33.6	1,240,096	11.4	2,227,806	279.6
買 掛 金	338,617	3.3	323,402	3.0	15,214	104.7
未 払 金	200,110	1.9	145,537	1.3	54,573	137.5
短 期 借 入 金	909,464	8.8	560,704	5.2	348,760	162.2
未 払 費 用	223,501	2.2	44,263	0.4	179,238	504.9
前 受 金	45	0.0			45	
預 り 金	22	0.0	23	0.0	△1	95.4
従 業 員 預 り 金	30,054	0.3	30,664	0.3	△610	98.0
賞 与 引 当 金	304,932	3.0			304,932	
未 払 法 人 税 等	908	0.0	22,082	0.2	△21,174	4.1
未 払 消 費 税 等	12,142	0.1	11,750	0.1	391	103.3
仮 受 金	153	0.0	167	0.0	△14	91.2
入 院 保 証 金	97,950	0.9	101,500	0.9	△3,550	96.5
売 上 債 権 前 受 金	1,350,000	13.1			1,350,000	
【固 定 負 債】	3,978,344	38.5	5,632,664	51.8	△1,654,320	70.6
長 期 借 入 金	3,557,920	34.4	5,123,395	47.1	△1,565,475	69.4
長 期 未 払 金	392,424	3.8	481,269	4.4	△88,845	81.5
受 入 保 証 金	28,000	0.3	28,000	0.3		100.0
負 債 合 計	7,446,247	72.1	6,872,761	63.2	573,485	108.3
【出 資 金】	200,000	1.9	200,000	1.8		100.0
【利 益 剰 余 金】	2,686,605	26.0	3,799,653	34.9	△1,113,048	70.7
当 期 未 処 分 利 益	2,686,605	26.0	3,799,653	34.9	△1,113,048	70.7
(うち、当期純損失)	(△1,113,048)	△10.8	(162,378)	1.5	△1,275,427	
純 資 産 合 計	2,886,605	27.9	3,999,653	36.8	△1,113,048	72.2
負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,332,852	100.0	10,872,415	100.0	△539,562	95.0

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産
最終仕入原価法による原価法を採用しています。

(2) 有価証券
その他の有価証券については、決算日末日の市場価格に基づく時価法を採用しています。
評価差額は、全部純資産直入法により処理しております。

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産
定率法を採用しています。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年1月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。
なお主な耐用年数は以下の通りです。
建物: 7年～39年
建物附属設備: 8年～18年
構築物: 10年～40年
医療用機械備品: 5年～8年
その他の器械備品: 2年～10年
車両及び船舶: 5年～6年

(2) 無形固定資産
定額法を採用しています。

4 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当該会計年度に負担すべき額を計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっています。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

該当なし

7 重要な会計方針を変更した旨等

(1) 賞与引当金の計上
賞与は従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当該会計年度より、支給見込額のうち当該会計年度に負担すべき額を賞与引当金に計上する方法に変更しております。
これにより当該会計年度に、賞与引当金が304,932千円が計上され、税引前当期純損失は同額増加しております。

(2) 給与手当の発生主義による計上
給与手当は従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当該会計年度より、発生主義で計上しております。
これにより当該会計年度に、未払費用が183,441千円増加し、税引前当期純損失は同額増加しております。

(3) その他有価証券の時価評価
その他有価証券は従来、原価法で計上しておりましたが、当該事業年度より、時価法で評価・計上しております。
なお、時価評価において著しい減損が認められることから、特別損失にその他有価証券評価損8,200千円を計上しております。

(4) 税効果会計の適用
医療法人会計基準(平成28年4月20日厚生労働省令第95号)に従い、税効果会計を適用いたしました。
それにより、本決算上、以下の計上がされています。
貸借対照表流動資産: 繰延税金資産 85,747 千円
貸借対照表その他の資産: 繰延税金資産 79,552 千円
損益計算書: 法人税等調整額 -165,299 千円

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

9 担保に供されている資産に関する事項

以下の資産を借入金の担保に供しています。

資産種類	平成30年5月 31日計上額
建物及び建物附属設備	4,122,243
土地	813,629
合計	4,935,872

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)	
(3)	当院医療法人の役員 又はその近親者が株 主総会、社員総会、 評議員会、取締役 会、理事会の議決権 の過半数を占めてい る法人。ただし、当 該関係は、平成30年 2月28日に解消して おります。	有限会社ワ イ・ケー・ メディカル	静岡県浜松 市南区白羽 町26番地	636,836	給食材料販売、 給食業務受託・ 管理、リネンサ プライ業務受託 等	給食委託、 リネン清掃 委託	(1) 給食委 託、リネ ン委託	583,493	該当なし	平成30年5月 31日時点で 関係事業者 に該当しな いため、期 末残高はあ りません。

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

①有限会社ワイ・ケー・メディカルの出資持分の譲渡が平成30年2月28日で行われたため、平成30年3月1日から、関係事業者と当該関係していません。よって、取引金額は平成29年6月1日から平成30年2月28日までの期間に対応するものです。

②取引条件及び取引条件の決定方法等：給食委託、リネン清掃委託については、取引条件を市場実勢を勘案しながら決定し、契約書を締結しています。支払は、当月末締め翌々月末払いとなっています。

(2) 個人である関係事業者

取引条件及び取引条件の決定方針等

該当なし

11 重要な偶発債務に関する事項

該当なし

12 重要な後発事象に関する事項

該当なし

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 一部有形固定資産の耐用年数の変更

駿河西病院の建物・建物付属設備の一部については、現在、建替中の建物が稼働後は、使用しなくなる可能性が高いことから、耐用年数を残存使用見込期間に短縮いたしました。これにより、事業費用、税引前当期純損失は58,707千円増加しています。

(2) 繰延税金資産の発生原因別内訳

賞与引当金否認	85,747
減価償却超過額	16,917
その他有価証券評価損	2,306
税務上の繰越欠損金	372,144
小計	477,114
税務上の繰越欠損金にかかる評価性引当額	-309,509
将来減算一時差異等の会計に係る評価性引当額	-2,306
評価性引当額小計	-311,814
繰延税金資産	165,299

税務上の繰越欠損金にかかる評価性引当額は、今後5年間の欠損金の使用可能見積額を超過する部分について計上しております。今後5年間の欠損金の使用可能見積額は、本会計年度における経常損益に、臨時的なものを加減調整したものを基準としております。

(3) 前期損益修正損

前期損益修正損は、賞与引当金計上を開始したこと、及び給与手当の計上を発生主義に変更したことによるものです。